

2019年度 日本教育心理学会 主催
公開シンポジウム

いじめの本質を理解し 予防するために

日時

2019年
12/8(日)

12:30~17:30
(12:00 受付開始)

●定員:250名 ●参加費:無料
どなたでも参加できます

場所

東京大学本郷キャンパス
国際学術総合研究棟 1階
文学部 3 番大教室

お申し込みはこちらから

<https://forms.gle/AJ7PCZ3nZmChdomD6>



司会・話題提供

文化社会心理学から見るいじめの本質
杉森 伸吉 (東京学芸大学)

話題提供

ネットや対面でのいじめの本質
安川 雅史 (全国ICTカウンセラー協会)

法教育として人権の観点から
弁護士が考えるいじめ予防授業
橋詰 穰 (東京三弁護士会)

道徳科におけるいじめ抑止への
取り組みについて
永田 繁雄 (東京学芸大学)

いじめを予防する学級づくり
鹿嶋 真弓 (立正大学)

パネルディスカッション



一般社団法人 **日本教育心理学会**
The Japanese Association of Educational Psychology

113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル7F
TEL:03-3818-1534 FAX:03-3818-1575
E-mail:office@edupsyh.jp

内 容

いじめの本質を理解し予防するために

日 時：2019年12月8日(日) 12:30～17:30(12:00受付開始)

場 所：東京大学本郷キャンパス国際学術総合研究棟 1階 文学部3番大教室

いじめ問題が国内で最初にクローズアップされたのは1980年代半ばである。それから、ほぼ10年周期でいじめ自殺数の急増ピークを迎えてきた。そのピークに呼応した文部科学省の指導により、定義の変更やいじめ防止対策推進法など、さまざまな取り組みがなされてきた。最新の学習指導要領の改訂においては、いじめの防止も視野に入れて多面的多角的に考え議論する道徳教育を行うことが前提となり、特別の教科道徳(以下、道徳科)ができた。道徳科の中では、どのようないじめ予防の取り組みをすればよいのだろうか。

いじめ問題が社会問題化するきっかけとなった、1986年2月の中野富士見中事件以来、実に多くのいじめ自殺が繰り返されてきた。現在のいじめの定義が非常に広いため、いじめの報告数が増加する中で、はたしてわれわれのいじめ理解は本質をとらえていたといえるのだろうか。また、どのような予防策や対応策が本質をとらえたものと言えるのだろうか。そして、いじめの内容もネットいじめ、LINEいじめを含めてどのように変化してきたのだろうか。

こうした疑問点に関しても、考える材料を提供したい。

児童生徒間の葛藤やいじめの問題は、いつでもどこでも生じうる。対人葛藤を通じて、社会性の発達が促されることも少なくない。したがって、不登校や自殺に至るような重大事態になることは、極力回避すべきであろうが、そうでないいじめまですべてなくすことは、不可能かつ不必要とする考え方もあろう。他方で、いじめに対する理解の仕方によっては、いじめをモンスターのようにとらえて、「いかなるいじめも決して許さない」と考えることも、可能である。いじめに向き合う姿勢として、どのような姿勢が合理的なのか、などの基本的スタンスについても考える手掛かりとなれば幸いである。

前半の2発表でいじめ全般に関する話題提供を行い、後半の3発表で学校現場におけるいじめ対策に関する話題提供を行う。まず、趣旨説明といじめに関するさまざまな考え方を文化社会心理学の観点から解説(杉森発表)し、次にネットいじめや対面のいじめに関するネット相談を先駆的に手掛けてきた経験から具体的事例も踏まえた解説(安川発表)を行う。後半は教育現場において人権擁護の観点からいじめ予防の出前授業を行ってきた弁護士団体の取り組みに関して紹介(橋詰発表)し、道徳科でのいじめ予防の可能性について解説(永田発表)し、最後にいじめを生まないクラスづくりについての説明(鹿嶋発表)を行う。

アクセス



地下鉄
丸ノ内線本郷三丁目駅 徒歩 6分
大江戸線本郷三丁目駅 徒歩 6分
南北線東大前駅 徒歩 15分

場 所
東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学本郷キャンパス
国際学術総合研究棟 1階
文学部 3番大教室

お申し込みはこちらから

<https://forms.gle/AJ7PCZ3nZmChdomD6>

どなたでも参加できます



一般社団法人 **日本教育心理学会**
The Japanese Association of Educational Psychology

113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル7F
TEL:03-3818-1534 FAX:03-3818-1575
E-mail:office@edupsych.jp